

## 【繁忙期のレジ締め時間を適正化し、残業代前年比30%削減】

繁忙期と閑散期のビジネスの変動が激しいアパレル店でアルバイトをしていた際、毎年繁忙期はレジ締めに過大な負荷がかかり、ひと月約30万円のコストが掛かっていました。

キャッシャー副責任者として、作業時間を適正化する必要があると考え、**繁忙期直前の1ヶ月毎日**、レジ締めに掛かった

**【時間】 【売り上げ】 【人数】 【金券の数】 【その他業務の有無】**の集計をレジチームに徹底しました。

結果として、適正時間の目安を把握により、レジ締めやその他業務への時間の予測や、人数配分に役立ち、

- ・ 合計15時間の残業時間をカット。
- ・ 付随する人件費、電気料金を前年比で30%削減

を実現させました

私はこれからも、その環境の中で仮に前例がなかったとしても

**「与えられた環境の中で人の選択肢を広げるために貢献ができる」**よう、

これからもチャレンジし続け、より多くの人に貢献できるよう前向きな生き方を体現していきます。